

## 昭和小学校の誕生

急激な社会の変化により人口の都市集中化が進み、学校卒業後の青少年者の大部分が昭和村からはなれ、村から若い人の働く姿が少なくなりました。そして、子供の数がだんだん減ってきたのです。そのため昭和47年（1972年）には、下中津川小学校をのぞく他の3校は3～4の複式学級となってしまいました。さらに、4つの学校とも木造で古くなり、校舎を建てなおさなければならない時期となりました。

村では、昭和51年に「小学校統合計画書」をつくり、翌年の6月24日、村議会で統合が決議されました。そして、昭和54年に現在の新しい鉄筋校舎および食堂、体育館が建てられ、翌年の昭和55年（1980年）4月1日から、統合小学校、昭和小学校がスタートしたのです。その年の学級は6学級、児童数は180人でした。

村内4校の学級数・児童数の移り変わり（本校のみ）

年度	下中津川小		野尻小		喰丸小		大芦小		合計	
	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童
45	6	162	5	75	3	42	5	90	19	369
50	6	92	4	48	3	38	3	54	16	232
54	6	67	4	43	3	28	3	27	16	165

やがて、昭和中学校も昭和59年（1984年）8月31日に現在の新校舎が完成し、移転することになります。

## 国道への昇格

昭和56年（1981年）4月、それまで県道であった金山・田島線が国道400号として昇格し、昭和村にも国道が通るようになりました。